

ミキモト銀座4丁目本店  
2017年6月1日(木)  
グランドオープニング

株式会社ミキモト（東京都中央区銀座 代表取締役社長 吉田 均）は、現在建て替え中のミキモト銀座4丁目本店を2017年6月1日（木）にグランドオープンいたします。



【完成予想図】

ミキモト銀座4丁目本店のビルの高さは地区計画「銀座ルール」で定められた最高の高さである約56m、1階から6階の売場面積は建て替え前の約2倍となり、世界有数の広さを誇る総合宝飾店となります。

約4万個のガラスピースを使用したファサードデザインは、国内外で活躍中の建築家内藤廣氏ないとうひろしによるものです。「銀座のどこにもない、世界のどこにもない、誰も見たことがない、そんなファサードを生み出したいと考えました。表現したかったのは“春の海の輝き”。ミキモトのブランドイメージである品格と落ち着きと高貴さがあがりながら、圧倒的に美しく、道行く人が思わず心奪われるような美しいファサードを作りたいと思います。」という同氏のコメントのように、ジュエリーブランドのラグジュアリー感をもち、街並みに溶け込みながらも存在感を放つ銀座の新しいランドマークを目指します。

ミキモトは、1899年（明治32年）日本で最初の真珠専門店として銀座に店舗を開業以来118年、多様に変化し独自に発展してきた銀座の街とともに歩んでまいりました。今後も宝飾品の販売を通じ、美しく豊かな生活文化の創造に貢献してまいります。

## 『ミキモト銀座4丁目本店』 概要



【エントランス部分完成予想図】

●店舗名	ミキモト銀座4丁目本店
●所在地	東京都中央区銀座4-5-5
●敷地面積	約410㎡
●延床面積	約4,600㎡
●構造規模	地上12階地下2階
●フロア構成	1～6階 売場 (約1,400㎡) 7階 多目的ホール (約240㎡)
●高さ	約56m
●着工日	2015年1月
●竣工日	2017年4月予定
●グランドオープニング	2017年6月1日(木)
●設計・施工	鹿島建設株式会社

### 【内藤 廣 氏略歴】

1950年神奈川県生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了後、フェルナンド・イゲーラス建築設計事務所(スペイン・マドリッド)、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立。2001～2011年東京大学大学院にて教授・副学長を歴任。2007～2009年グッドデザイン賞審査委員長。現在、東京大学名誉教授。

<主な仕事>海の博物館(芸術選奨文部大臣新人賞、日本建築学会賞、吉田五十八賞)、安曇野ちひろ美術館、牧野富太郎記念館(村野藤吾賞、IAA国際トリエンナーレグランプリ、毎日芸術賞)、島根県芸術文化センター(International Architecture Award)、リバートリート雅楽倶 ANNEX、日向市駅(ブルネル賞)、虎屋京都店、九州大学椎木講堂、安曇野市庁舎、静岡県草薙総合運動場体育館など。

<主な近著>『内藤廣の建築 2005-2013 素形から素景へ 2』、『内藤廣の建築 1992-2004 素形から素景へ 1』(以上、TOTO 出版)、『内藤廣+石元泰博 空間との対話』(ADP)、『場のちから』、『形態デザイン講義』、『環境デザイン講義』、『構造デザイン講義』(以上、王国社)、『内藤廣の頭と手』(彰国社)、『内藤廣と若者たち 人生をめぐる一八の対話』(鹿島出版会)

## 【ミキモトについて】

日本が誇る宝飾ブランド「ミキモト」

1893年、ミキモトの創業者 御木本幸吉は、世界で初めて真珠の養殖に成功しました。以来、世界で唯一とも言える、生産から販売までの一貫体制により、確かな品質、優れたデザイン、卓越した技術によるハイクオリティなジュエリーを一世紀以上にわたり提供しています。

「世界中の女性を真珠で飾りたい」と願い続けた創業者の思いを受け継ぎ、日本を代表するトップジュエラーとして、東京・銀座の本店をはじめ、パリ・ヴァンドーム広場、ニューヨーク・五番街、ロンドン・ニューボンドストリートなど各地に出店。アジアにおいても広く店舗を展開しています。